

2024 (令和6年) 12月23日 福川市立東朋中学校

明日から待ちに待った冬休みです。冬休みはクリスマスやお正月など楽しいことがたくさんあります。しか し、ついつい生活リズムが乱れがちになります。生活リズムが乱れると体調も崩れやすくなるので、せっかくの 楽しいことも楽しめなくなります。体調管理に気をつけ、楽しい冬休みを過ごし3学期に元気に会いましょう!

# 乙学期の保健室即間常然

2 学期の保健室利用状況 (12 月 19 日現在) です。内科的理由での来室者は 389 人、外科的理由での来室者は 196 人です。1 学期に引き続き、外科的理由で1番多いのは 47 人で打撲、内科的理由で1番多いのは 153 人で 頭痛での来室でした。急に寒くなり、体調を崩す生徒が増加傾向です。また、インフルエンザや風邪などの感染 症も市内を含め増加傾向です。学校でも声掛けを行っていますが、ご家庭でも「咳が出たり、喉がイガイガするなど

「早寝・早起き・朝ごはん」を心がけるなど声掛けをよろしくお願いいたします。

**違和感がある時はマスクをする」「手洗い・うがい」**などの感染症対策や、体調を崩さないためにも、

# 症の主な感染経路 飛沫の水分が蒸発した小さな粒子(飛沫核という)を吸い込むことで感染する 空気感染 飛沫核の大きさは直径54m以下。長時間空気中を漂い、広範囲にひろがる。 飛沫核よりは大きく、水分を含んだ



会話や咳、くしゃみなどで飛び散った病原体の 含まれたしぶき(飛沫という)を吸い込むことで 感染する。飛沫の大きさは直径5<sub>4</sub>m以上。 水分の重みで1~2m以内で落下する。



エアロゾル感染

細かい粒子がしばらくの間空気中を漂い、 それを吸い込むことで感染する。 エアロゾル感染は空気感染と飛沫感染の



病原体が付着したものを触った手で 目や口、鼻などを触ることで 粘膜から感染する。

#### ♥ SNSと上手に付き合うために

保健室来室者の中 にはスマホを夜遅く まで使用し、寝不足 の生徒もいます。

スマホやSNSの 上手に付き合い方を もう一度考えてみま しょう!



■ スマホでSNSの利用時間を確認してみる

SNSをやり過ぎていると感じたら、スマホで アプリごとの利用時間を確認する機能(スクリー ンタイム)を使ってみましょう。たとえば、1日 にスマホを6時間利用したとき、その内訳を確認 すると、SNS4時間、動画1時間、ゲーム1時間 などとわかります。この場合、SNSの利用時間 が長いことにあらためて気づくことができます。



#### SNSを利用する時間を減らしてみる

SNS疲れを感じている人は、SNSを利用する時間を少しずつ減らしてみましょう。たとえば、 「SNSの利用は夜10時まで」と決めて、10時以降はいっさい見ず、電源もオフにします。また、 休みの日などに1日中SNSを見ない日を設定してみるのもいいでしょう。

SNSの利用時間を減らすことで、自分が自由に使える時間が増え、心身ともにリラックス することができます。また、SNS以外で夢中になれるもの、たとえば読書や音楽、料理、スポー ツなどの趣味の時間を充実させてみましょう。



# るを気気に過ごそう!

# 健康って何だろう

うか? 毎日、心も体ものびのび パワーを充電して、元気な笑顔の と元気に、楽しく過ごせるといい毎日を送ってくださいね。 ですよね。そのためには、右の表 のようなことに気をつけましょう。 あなたの健康を守るのは、あな た自身です。心と体の声に耳を傾 けて、元気がないときは、しっか

健康って、どういうことでしょ り休むことも大切です。心と体の



- □ぐっすり眠る
- ■朝ごはんを食べる
- 圆度に体を動かす
- □ 食事のバランスに 気をつける
- □ 生活リズムを整える
- □ 夜更かしをしない
- □寝る前にゲームや パソコンは使わない



### 睡眠をとる

ゆっくり休むのが一番。 休むことで、体にある 回復力や病原菌と戦う 力を高めることができ



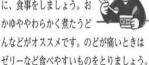
#### 水分補給

脱水状態にならないよ うに、意識的に水分を とりましょう。冷たい ものより室温くらいの ものがオススメ。



### 栄養補給

細菌やウイルスと戦うため に、食事をしましょう。お



温かくなるのはなぜつ

は空気中の酸素に触れると化学反応を起こし、熱が発生します。カイロの中には鉄の粉が 入っていて、それが熱を作り出します。また、温度や持続時間を調整するた めに、水や炭なども入れて、私たちを快適に温めてくれる仕組みになっています。



首には太い血管があるので全身が効率よく温まります 背中にある大きな筋肉を温めると、筋肉が固まるのを防げます

おへその少し下を温めると、元気に過ごせると言われています

おへその真裏を温めると、腰全体が温まります

くるぶし周辺を温めると、足の先まで温まります

### 寒い冬は 体を温めよう

体が冷えると血行が悪くなり、内臓の不調や免疫力の低下につながります。衣服を調節して、運動 習慣をつくり、入浴の時間をしっかりとって、厳しい冬を乗り越えましょう。



マフラーや手袋などの小 物も活用して、防寒対策を しっかり行いましょう。



腹筋やスクワットなどの「筋 トレ」で、室内でも運動しましょ う。筋肉を動かすと熱が産生さ れ、体温が上がります。

## 入浴



38~40度のお湯に、10~ 15分入浴しましょう。血行が 促進されて体温が上がり、体の 芯からよく温まります。

©少年写真新聞社2024

#### ~ 保護者の皆様へ ~

2学期も結果通知書を持ち、治療に行ってくださった返信報告が続々と保健室に届いています。 まだの方は年末でお忙しいと思いますが、是非冬休みを利用して医療機関で受診をよろしくお願 いします。

また、子ども医療助成の対象の場合は中学3年生までです。受験などで忙しくなる前に早めの受診 をおすすめします。

受診後は新学期に学校に結果の報告をよろしくお願いします。